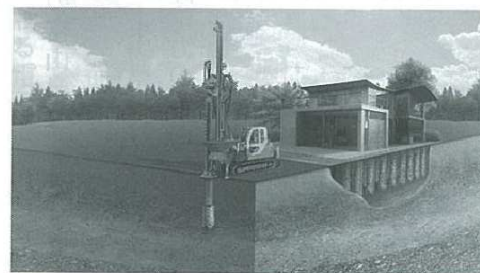


東・海  
——  
三重県

# 株 尾 鍋 組

## 自然石だけを使う地盤改良技術 環境にやさしい「エコジオ工法」を開発

砕石（小さく砕いた自然石）だけを地中に詰め込む環境にやさしい地盤改良技術「エコジオ工法」が注目されている。この工法を開発・実用化したのが、道路や河川、林道、治山工事などの公共土木事業を手掛ける（株）尾鍋組だ。



エコジオ工法による地盤改良のイメージ図

砕石だけを用いるため、環境にやさしく、土地の価値への影響も少ないという特徴がある」と尾鍋哲也社長は話す。既存の銅管杭、コンクリート杭を打ち込む工法に比べて、エコジオ工法では地中に残すものは砕石だけ。地中に廃棄物や土壌汚染が見つかると、その撤去費用を割り引いて土地の価値が決められるが、エコジオ工法では地中にそのような人工物が残らない。

### 太鼓判押します!!



三重県 雇用経済部  
ものづくり推進課  
三浦 健一さん

尾鍋組は砕石の地盤改良事業により、地元密着型の土木会社から全国の市場へ新規展開を進めています。顧客重視はもちろん、社員や地域との関わりも大切にしており、2015年度「三重のおもてなし経営企業選」（三重県知事表彰）も受賞しています。

また、同社ではエコジオ工法をさらに進化させた「エコジオゼロ」も開発。こちらは施工時に残土も出ないため、施工中から将来に渡り廃棄物・残土をまったく残すことがない。また、独自に開発したEGケーシング

グ（鉄の筒）を用いるため、掘削中の穴の壁面崩壊を確実に防ぐことにより、安定した品質を確保している。そんな同社が地盤改良に取り組みはじめたのは10年ほど前のこと。「公共土木事業の発生・受注が減少傾向にあったときに、ある地盤改良会社から届いた施工代理店募集のDMを見て代理店登録したのがはじまりだった」という。当時は砕石と水を組み合わせて使うアクパド工法を用いていたが、代理店登録した本部が倒産したことなどを機に、独自工法の開発を決意。そして、尾鍋社長の



「研究会や講演会でエコジオ工法について話す機会も多い」という尾鍋社長

■会社概要  
所在地・三重県松阪市飯高町宮前32-1-4  
☎0598-4660234／創業1962年・設立1984年／従業員18人／資本金3500万円  
<http://onabecorp.jp>

#### 社長の自社採点

企画開発	☆☆☆☆☆
営業力	☆☆☆☆
成長力	☆☆☆☆☆
収益力	☆☆☆☆
地域貢献力	☆☆☆☆
人材力	☆☆☆☆
専門性	☆☆☆☆☆
リサーチ力	☆☆☆☆
計画性	☆☆☆☆☆
リスクマネジメント	☆☆☆☆

母校である三重大学との共同研究の末、2009年にエコジオ工法を生み出したという。同社はエコジオ工法を全国に広めるため、10年にエコジオ工法協会を設立。施工代理店方式で事業の全国展開を開始した。スタート時は3社だったが、現在では青森から宮崎まで全国38社が代理店となっている。もちろん、それにとめないエコジオ工法の施工件数も増えており、15年度の年間施工数は1778件、16年12月までの累計は5519件に上っている。今後は「住宅から公共建築物、土木工事、さらには高速道路の強化やメンテナンスにも応用し、社会から求められる技術として発展させていきたい」と尾鍋社長は目を輝かせている。



エコジオ工法地盤改良施工の現場



QRコード  
スマートフォンで読み取ってください

社長のひとこと